

第56回 OMC映像フェスティバル

盛会にて無事終了

新導入のプロジェクターも効果抜群



去る10月2日（日曜日）に行われた、大阪市立中央会館でのOMC映像フェスティバルは、雨も降らず各地運動会やら文化祭やらの行事が多いなか、会場はほぼ満席のご来場者があり、さすが伝統あるOMC映像フェスティバルだと有難く思うと共に、ご来場の皆様に厚く御礼申し上げたいと思います。

また、上映にあたって事前にBDに一本化された進藤氏、音のレベルを事前チェックされた江村氏、プロジェクターの事前上映テストを担当された関、柴辻、進藤、江村、また座席の配置確認に現地調査された河合氏等、又、当日は出品者を中心に全員参加で役割分担の仕事をして頂い方々にここで改めて感謝いたします。皆様のご協力がなければ、こうした催しは出来ないことを改めて感じ入っております。（合原）

■祝電を頂戴した方々（順不動）

1. 神奈川映像 名誉会長 金子豊一様、 会長 大隅楠夫 様
2. 東京映像 会長 古城和明 様
3. 銚子映像クラブ 会長 石毛文男 様
4. 寝屋川市映像協会 会長 竹田幸男 様
5. 株式会社 吉岡映像 代表取締役 吉岡博行 様
6. サカイ 8ミリ・ビデオクラブ 会長 伊東房行 様

■入場者数 約220名

■新規導入プロジェクター：EPSON EB G7900U型 最新型



この機器は、OMC所有とし、通常は江村世話役に保管して頂きます。
本体だけでも13キロ位、ケース、付属品を入れて20キロ近くになり、江村さんにはご苦労かけますが、よろしくお願いいたします。 (会長・合原)

10月例会のお知らせ

■第4土曜22日18時より、大阪市立難波市民学習センター（JR難波駅4F）にて開催します。
秋も深まる頃で良い季節です。皆さんどうぞお越しください。作品のほうもどうぞ。

■映写会情報

・10月29日（土）13時～

堺撮れとれ映像祭

会場 堺市立東文化会館メインホール
もより駅 南海高野線北野田駅より3分

・10月30日（日）13時～

大阪アマチュア映像祭 西長堀駅下車

会場 大阪市立中央図書館5階大会議室

・11月10日（木）13時～

京都アマチュア映像祭（16回）

会場 ひとまち・交流館ホール

■紙本会員が米子コンに入選

このたび発表された「よなご映像フェスティバル」に、紙本作品がノミネートされました。
本選は11月26日（土）最終審査員からグランプリ、準グランプリ等が選出されます。

・「勝部の火祭り」 紙本 勝 9分50秒

おめでとうございます。

■新入会員のお知らせ

西野譲治さん

ご入会歓迎いたします。よろしくお願いいたします。（※会員専用ページに記載）

■携帯電話の追加

植村朝一さん。

よろしくお願いいたします。（※会員専用ページに記載）

9月通常例会レポート

彼岸花の咲く季節となり、さすがに朝夕めっきり涼しくなった9月24日例会日、例会を待ちわびた会員の皆さんが定刻前より続々と学習センターの待合所に集結。今月の司会は森口氏、書記、高瀬氏、映写は岡本、井上、坪井の各氏、メモリ記録は江村、河合の各氏、掲示は紙本氏、受付兼照明係は華岡、宮崎各氏の担当で進行。

■出席者：赤澤、有村、井上、稲田、江村、岡本、紙本、河合、合原、柴辻、進藤、関、高瀬、坪井、華岡、前田、宮崎、森口、森下、森田、山本、弓取、西條、山城の24氏。

■上映作品（講評は高瀬世話役です）

1. 木津川駅 BD 江村一郎 7分10秒

木津川駅は西成区北津守にある南海電車汐見橋線の駅。一日の利用客が平均86人と大阪で一番少ない。駅舎の場所も分かりにくいため「大都会の秘境駅」といわれている。明治33年の開業で、駅周辺はかつて東洋のマンチエスターと呼ばれ、紡績会社や材木の集散地、鉄道と海運の中継拠点として栄えたようだが、今はその面影はないと、テロップで紹介しながら、寂れた駅舎や周辺の風景を情感のこもった映像で綴られている。野良猫やカラス、電車を待つ老人などが一層侘しさを掻き立てるカットは江村さんならではのもの。そんな駅だが、発着する電車はもちろん現代的な色彩で新しい。そのちぐはぐさが何となく面白い作品となっているようにも思えました。

2. 三好政権崩壊への道 BD 紙本 勝 14分15秒

8月例会での「三好政権誕生への道」に続く三好一族興亡の跡を訪ねての続編。前編が12分、後編が14分で合わせて26分の大作である。後編では5代目三好元長によって築かれた三好政権がどのような経緯で崩壊していくかを克明に描かれている。ただ登場人物が元長の子供4人に加え、長男の孫や養子、そしてそれぞれの政敵など数多い上に名前がよく似ており把握するのはなかなか難しい。名前とその関係を紙に書き写し、再度それぞれの場面をたどると、よく整理され綿密に構成された作品であることが分かりました。また登場する城跡は10カ所以上に及び、そのいずれも現地に足を運び撮影された映像であるのはいつものことながら感服するほかありません。そしてラストは堺まつりの三好隊が登場、三好一族は仲が良く、民衆をいたわる政治を貫いたと結ばれており、戦国時代の血なまぐさい話の救いとなっている。

3. カルカソヌ BD 華岡 汪 7分33秒

フランス南西部に位置する都市、カルカソヌの丘の上の城塞に囲まれたシテ城に行かれ、まとめられている。シテ城は1997年に世界遺産に登録されているが、その起源は古くローマ帝国が築いたといわれる。そして13世紀にかけて完成されるが、その後、城が軍事的役割を終え廃墟となる。これを19世紀に建築家ヴィオレ・ル・デュックが現在の形に修復するなど、街の歴史がナレーションで語られ、二重に施された堅固な城壁と観光客で賑わう街の様子をテンポ良く編集されている。ラストは1000年以上の城塞と日本の木造建築と比べると考えさせられるものがあると結ばれ、単に観光ビデオに終わらない内容となっている。ただサンナゼール大聖堂に入り、迎える聖歌隊の歌のシーンが約2分ほど続き、やや長く感じました。

4. 送り火（旧作） BD 前田茂夫 10分00秒

 <https://youtu.be/lpJ9yPqhmJs>

10年ほど前の初期のハイビジョンの映像で画質が粗いかも…という作者の説明があり、映写したが、その心配は杞憂に終わり、今の画像と比べても遜色がない。8月16日、京都の五山の送り火の昼間、如意ヶ嶽（通称大文字山）の麓、銀閣寺門前では護摩木や松割木に戒名などを書く大勢の人々で賑わっている。そうした人たちの様子を丹念に撮影、先祖の御霊を送る人々の思いが伝わるような映像である。そして大文字山に登り、午後8時の点火を待つ。やがて火床に積まれた護摩木が燃やされると、周囲は赤い炎で包まれる。間近での火の迫力あふれる描写で、その火の粉の間から「妙法」の文字が浮かぶ映像は秀逸。そして大の字が消える頃、「船形」「左大文字」が周囲の山に浮かぶ。火が消えた後、地元の人たちは家の前に吊るすと厄除けになることから、カラケシを家に持ち帰る。こうした情景をインタビューも交え、丁寧に撮られており、五山の送り火が観光ショーではなく先祖を送る行事であることが伝わってくる作品。最近を送り火当日はどの山も入山を禁止しているようで、山に登られ、間近で撮られた映像は貴重な記録でもあります。

5. ドローン初飛行 BD 関 剛 8分00秒

初めてドローンのファントム3アドバンスの飛行を試みられた映像。撮影場所は新御堂筋とJR京都線の鉄橋が架かる淀川河川敷。北東の風、風力4メートル。コントローラーやカメラ、ipad mini3など機器の紹介があって、いよいよ始動、河川敷をドローンは鉄橋に向かってかなりのスピードで上昇していく。まずはスピード感のある映像に圧倒される。そして鉄橋の上では列車の通過やクルマの列、さらにビルの街並みをとらえて行くが、画像はほとんど揺れることなく、ほぼ静止状態であるのに驚かされる。しばらく電車の動きを追うなど周囲の風景を俯瞰撮影した後、電池が30%を切ったところで、自動生還モードに入り、離陸地点に戻ってくる。ベンチの上に手動でうまく着陸でき、まずはドローン初飛行は大成功。今後、ドローンの映像をどのような作品として見せていただけるか楽しみである。

6. 河内音頭あちこち BD 進藤信男 7分55秒

大阪の盆踊りに欠かせない「河内音頭」は木遣歌の流し節を源流とし、念仏踊りとも合わさって、ゆったりとした曲調の「正調河内音頭」となり、さらに今風にアレンジされた「現代の河内音頭」も広まっている。正調河内音頭がゆったりとしているのに対して、現代の河内音頭はテンポが早く、動きも激しい。また念仏踊りから生まれた滋賀県の江州音

頭も河内音頭と融合して、踊られている、とテロップとナレーションで語られる。河内音頭の本場、八尾の常光寺と箕面の夏祭りでの東大阪の人たちによる踊りや箕面の人々が参加しての夜の踊り、そしてシーンとしては短い、滋賀豊郷町の江州音頭と融合した河内音頭など、いろいろ登場するが、どれも町の人たち老若男女みんなが踊りの輪に入り、楽しそうに踊っている。そうした様子が映像から伝わってくる作品です。作品のほとんどが盆踊りのシーンとあってよく、同じような踊りが続くだけに編集に苦心されたのではないのでしょうか。

7. 上高地：2日目 BD 弓取克弘 8分00秒

先月の「上高地」の続編。前作から一夜明け、上高地は深い朝霧につつまれている。陽が昇り朝焼けとなるシーン、朱に染まった霧に山々が浮かぶシーンは神秘的な雰囲気漂っている。そして霧が晴れ、河童橋から清水橋やウェストン卿の碑、田代池へと散策される。途中、突然の大雨に見舞われるが、ほどなく雨も上がり、梓川に沿って歩かれ、目的の田代池に到着。自然の風景を描写するのに天候の変化が作品の良し悪しに大きな影響を与える。早朝の撮影や突然の激しい雨の撮影は大変だったでしょうが、作品を作るのにある意味、大変ラッキーな1日だったように思われます。散策途中、花のアップとかがよく出てくるが、司会者から花の名前を入れた方がいいのではという指摘がありました。

8. 天山南路 BD 山本正夢 13分20秒

天山南路はシルクロードのうち天山山脈の南側を通る路。タイトルバックの砂漠に行くラクダの列はこの作品の象徴的な映像。まず出発点の西安では仏教遺跡、歴史的建造物など盛沢山な映像が早い展開で進む。しかしモンゴル侵攻を防ぐため造られた嘉峪関では一転して懸壁長城や万里長城など雄大なゆったりとして風景に変わる。さらに敦煌では莫高窟や鳴沙山の砂漠でタイトルに出てきたラクダの列がシルクロードの雰囲気を盛り上げる。そしてハミでは瓜、トルファンは葡萄といった特産物を紹介、ウルムチではウイグル自治区博物館や国際バザールを訪れる。クチャは広々とした塩水渓谷や唐時代最大の仏教遺跡を紹介、最終地点のカシュガルでは新疆最大の回教寺院、エイティガール寺院や街の風景など、登場する建造物や遺跡などは限られた紙面では書き切れないほど数が多い。それぞれの土地の人たちの生活風景も描かれ、見応えのある作品となっています。それぞれの街の位置が地図で示されているが、ネット情報によると、西安からカシュガルまで天山南路は4077キロとあります。山本さんはどのような移動手段で何日かけて旅されたのか気になりました。

9. 年輪 DVD 柴辻英一 4分30秒

大きな古木に年輪というタイトルが入り、かやぶきの里・美山の風景が映り、北島三郎の「年輪」の歌が流れる。20年ほど前の作品で、どのような展開になるのか興味を持って見ていると、作者の柴辻さん、吉岡さん、紙本さんをはじめ吉田さんや京都の瀬良さんなど20年前のシングル8友の会の世話役の方々がポーズを決めて登場。いずれの方も若々しいが、さらにそれぞれの方の幼少や少年、青年時代の写真が対比して紹介され、まさに年輪を感じさせる映像。タイトルの意味がここにあったのかと納得しました。5月の美山かやぶきの里撮影会で昼食を摂った「またべ」で一泊されたようで、囲炉裏を囲んで皆さんが談笑されている風景がなんとも言えない趣を醸し出している。それから20年、年輪はさらに増しているのが感慨深い。

10. 樹氷探訪（旧作） BD 有村 博 10分00秒

平成3年2月、冬の大台ヶ原へご夫婦で樹氷を見に行かれた。最初に「この翌年から冬季（12月～4月）は通行禁止となったため、冬に行けるのはこれが最後で貴重な映像となりました」と文章で説明。バスが雪のため立往生する場面もあるが、なんとか大台ヶ原山に到着。そこから雪の道を日出ヶ岳の山頂を目指される。雪は深い絶好の天気、樹氷が青空に映える。夫婦で会話を交わしながら、またビデオを撮り合いながら仲睦まじい様子が画面から伝わる。映像では、はっきりと分かりにくいところもあるが、遥か熊野灘や紀伊半島、大峰山脈が見えると会話もはずむ。それにしても樹氷は見事で、これがもう見られないというのは残念です。

11. しまなみ海道99 DVD 赤澤與三郎 10分59秒

1999年5月、しまなみ海道が完成した年、イベントとして7つの橋を徒歩か自転車で渡ったことを証明する「瀬戸内しまなみ海道渡橋認定証」をもらわれた。冒頭にその認定証が出てきて、その時の様子を作品化されている。5月1日、橋の完成で中止となる尾道から今治への最後の高速船に乗って四国へ。そして瀬戸内に架かる橋の美しい風景を描写されている。ただ広い場所をとらえようと、パンニングを繰り返されていて、しかもいずれも画面の左から右への移動で、せっかくの新しい橋なので、ここはじっくりと素晴らしい風景を見せていただきたいところです。次の日のサマーコンサートは歌っている歌手をじっくりと撮られている。ただそのシーンが5分以上あり、作品全体の中でやや長過ぎるように思われます。

12. もんてきて沖島 BD 高瀬辰雄 11分10秒

近江八幡市の沖島は対岸から船で10分。距離にして約1.5km。琵琶湖最大の島だが、ここは日本の湖の中で唯一、人が住んでいる島。「もんてきて」は「戻って来て」という島の言葉で、観光のキャッチフレーズに使われている。人口は約300人、漁業で生計を立てている人が多く、一家に一艘の船を持っているそうです。島の中の道は狭く、自動車は1台もなく、のんびりとした島に8月の終わりに訪れ、撮影した拙作。特にメインとなるような見るべきものはないので、どうカットをつなぐか苦心しました。そんな島ですが、最近なぜか人気が高まっており、バスツアーなどもあり年間2万人ほどが訪れるそうです。一方、そのため島民のプライバシーの保護が問題になっています。

9月 第2例会レポート

9月第2例会は15日（木）午後1時より開催。一般作品5本が出品され、充実した意見の交換等通常例会とは違った雰囲気で行進。司会、進藤氏、上映、河合、江村の両氏、掲示、紙本氏、受付は宮崎氏で行進。

■出席者：有村、稲田、植村、江村、紙本、河合、合原、進藤、関、高瀬、華岡、前田、宮崎、山本の14氏。

■上映作品（講評は紙本世話役です）

1. 円空彫に魅せられて BD 高瀬辰雄 13分00秒

円空彫の数々の仏像が現れて、円空は江戸時代前期の僧侶で、仏師であり、歌人であり、全国を歩き64年の間に12万体的もの仏像を彫刻したと言うナレーションが流れます。円空彫りの特徴は、ノミの跡が残り優しい微笑をたたえている事です。この円空仏の魅力に魅せられたのが梅川尚英さん73歳で80歳までに1千体を彫る意気込みで、129体目の彫刻の様子を、凡そ10分間で紹介されたのがこの作品です。なんの変哲もない小さな木片に頭ができ、胴体と衣が着せられやがて微笑の顔が彫られます。作者がこれを粘り強く詳細に撮り、円空彫りという珍しい仏像を知る事が出来ました。円空彫りの仏像は、小仏（主に20～60cm）で現在全国には五千三百体ほどが現存している様です。

2. なばなの里ベゴニアガーデン BD 江村一郎 6分10秒

おやなんだろうと思わせる大きな球状物が回転して噴水が流れてやがて池に続き、ベゴニアの沢山の花が水に浮き、美しくて印象的で、日本最大と言われる広い温室の隅々までを埋める様に咲き誇るベゴニアを存分に撮っておられます。画面と花だけの単調さを避けるのに、前なめの技法と、所々で管理の人々を入れる工夫をこらしているのがよく判ります。余談ですが花の管理は大変なのでしょう。ところでベゴニアは熱帯や亜熱帯地方の原種が二千種類でその交配種は数倍とか、似たゼラニウムと違って豪華さがあるので家庭園芸の一つに加えてみても良いのではと思います、兎に角バラ等も含めて美しい花を江村さんらしい作品にしておられました。

3. 出会い DV 有村 博 4分50秒

タイトルに続いて「私達は大原の里で女性に出会いそして別れました」と字幕が出ます。平成2年2月の撮影会で名も知らぬ女性の写真撮影を頼まれたのがきっかけでモデルを依頼して三千院の庭を歩き、往生極楽院で拝殿にのぼり仏像を拝み、里を歩いて寂光院まで足を伸ばし縁側で庭を眺める女性を追っています。撮影が故人の今井さんと一緒とありPCでお世話になった事を思い出しました。素人の女性でいきなりですから多少ぎこちなさもありましたが、タイトルからすると結構な事で楽しかった事と想像します。作品の最後に「残念でした」とありましたが、それでよかったと思います。私も出会いの女性に3回ばかりモデルを頼んだ事がありますが、何も聞かない方がどちらも後腐れがなく良いものだと考えました。

4. 台湾一周鉄道の旅 BD 山本正夢 6分50秒

台湾は九州と同じ位の面積で、鉄道は大きく分けて東部幹線・南回線・西部幹線で距離は900km程の様です。山本さんは基隆から旅を存分に楽しまれた様です。台湾でも駅弁が楽しめ、車内販売もあるようですが主要駅では下車して観光や食事に時間をかけ乍らの旅で、九分での天灯揚げや、日本が施設した旧総督府鉄道、高雄では旧高雄駅等が見られます。列車も乗り替えの度に違った形式のもので、車内を流れる曲が「汽車」の台湾版の様でしたが、矢張り日本統治の面影があちこちにのこっているのでしょうか何時もの事ながら山本さんならではの作品で色々勉強にもなり楽しく拝見しました。

5. 高野心象 DV 関 剛 7分30秒

日本仏教の聖地の一つ高野山が世界遺産に登録された年に撮影に行かれた様です。前半、山門の全景を除いてアツプのカットが連続する。此処が私どもとの違いです。私の場合は風景等の全体を見て、これをなんとか美しく撮ろうと考えてしまう事ですが関さんは被写体固有のイメージであったり実際に受けるイメージを映像で表現するという違いかと思いま

す。後半の多宝塔あたりから僧侶が大師の食事を運ぶ独特の姿等でイメージは盛り上がり、杉並木の光と影、そして石仏や墓石、更にはかなりの年月を経たと思われる無縁墓と散在する石仏、神秘的な雰囲気をもっている高野山にふさわしい心象作品と思われ色々参考になりました。

(参考作品)

- | | | |
|--------------|-------|-------|
| 1. 山頂に生きる70年 | 田村尚男 | 15:00 |
| 2. 道化への旅だち | 高松政男 | 11:00 |
| 3. 伝説に生きる町 | 金子喜代子 | 14:00 |
| 4. 艶 | 田淵千枝子 | 17:00 |

以上で9月第2例会を終えました。

■Youtubeへ作品をアップロードしてみませんか

作品を例会以外で見えていただく方法の一つにYouTubeへアップロードしてOMCのホームページにリンクして載せる方法があります。その方法を詳説しますが例会ユースページ数に限りがありますのでHP版の例会ニュースをご覧ください。(前田・坪井記)

下記のリンクから入って下さい。

[28-09-youtube-upload.pdf](#) へのリンク